

[要点]

- (1) 1185年に壇ノ浦の戦いで平氏を滅ぼし、朝廷に、国ごとに守護、荘園ごとに地頭を置くことを認めさせた。1192年、源頼朝は、征夷大將軍に任じられ、鎌倉幕府を開いたが、源氏は三代で滅び、もっとも有力な御家人であった北条氏が執権という地位について政治の実権を握った。
- (2) 御家人は、將軍から領地を認められ、守護や地頭などに任じられた。これを御恩といい、そのかわりに御家人は京都・鎌倉の警備にあたり、いざ戦いというときには一族郎党を率いて働いた。これを奉公という。このような土地を仲立ちにした主従関係を封建制度という。

[A問題：要点確認]

- (1) 1185年に()の戦いで平氏を滅ぼし、朝廷に、国ごとに()、荘園ごとに()を置くことを認めさせた。1192年、()は、()に任じられ、()幕府を開いたが、源氏は三代で滅び、もっとも有力な御家人であった()氏が()という地位について政治の実権を握った。
- (2) 御家人は、將軍から領地を認められ、守護や地頭などに任じられた。これを()といい、そのかわりに御家人は京都・鎌倉の警備にあたり、いざ戦いというときには一族郎党を率いて働いた。これを()という。このような土地を仲立ちにした主従関係を()制度という。

[B問題]

- (1) 壇ノ浦の戦いで、源氏の総大将として平氏をほろぼしたのは誰か。
- (2) 右の肖像画に描かれている人物はだれか。
- (3) 1185年、(2)の人物は朝廷にせまって(A)・(B)を置くことを認めさせた。(A)は国ごとにおかれ、御家人の統率や殺人などの重い犯罪の取り締まりにあたった。(B)は荘園ごとにおかれ、年貢の取り立てなどにあたった。
- (4) (2)の人物は朝廷からどんな位をさずけられて幕府を開いたか。また、それは何年か。



[解答]

- (1) 源義経 (2) 源頼朝 (3) A 守護 B 地頭 (4) 征夷大將軍 ,1192年

[C問題]

- (1) 1185年,()の戦いで平氏が源氏によって滅ぼされた。
- (2) 平氏を滅ぼした後,源頼朝は守護・地頭をおくことを朝廷に認めさせたが,それは何年のことか。
- (3) 守護,地頭は,それぞれどんなところに置かれたか。
- (4) 頼朝は,平氏の滅亡後,弟の(A)をかくまったことを口実に,(B)氏を攻め滅ぼした。こうして東北地方にも幕府の支配が及ぶようになった。

[解答]

- (1) 壇ノ浦 (2) 1185年 (3) 国ごと, 荘園や公領ごと (4) A 源義経, B 奥州藤原(氏)

[C問題]

- (1) 鎌倉幕府を開いた人物は誰か。
- (2) 鎌倉幕府がおかれたのは現在の何県の何市か。
- (3) 1192年に鎌倉幕府が開かれて,1333年に滅亡するまでの時代を何時代というか。
- (4) 鎌倉幕府の組織で,御家人の統率にあたったのは(A),御家人からの訴えを裁いたのが(B),一般政務や財政をつかさどったのが(C)である。
- (5) 最初は政所の長官をさす役職で,北条氏がこの役職について,のちに政治の実権をにぎった。この役職とは何か。
- (6) 最初に(5)の地位についたのは誰か。
- (7) 頼朝の死後,幕府の実権は(A)氏に移り,以後(A)氏が(B)の地位を独占した。

[解答]

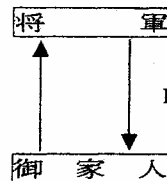
- (1) 源頼朝 (2) 神奈川県の鎌倉市 (3) 鎌倉時代 (4) A 侍所 B 間注所 C 政所 (5) 執権 (6) 北条時政 (7) A 北条, B 執権

[B問題]

将軍は配下の御家人になった武士が先祖から受け継いできた所領の支配を認め,てがらにに応じて新しい土地も与えたり,要職にも任命した。これらを(B)という。一方,御家人は将軍から受けた(B)にこた

(忠誠を尽くす) A

B (土地を守ってあげる)



えて,普段は京都や鎌倉で警護などの役を務め,「いざ鎌倉」といった戦のときには将軍家のために戦った。これらを(A)という。このような土地を仲立ちにした主従関係を(C)という。

【解答】

- (A) 奉公 (B) 御恩 (C) 封建制度

【C問題】

- (1) 将軍と主従関係を結んだ武士を何というか。
- (2) 源頼朝は、御恩と奉公で結ばれた主従関係を基礎にして、武家政治を始めた。この御恩とは、どのようなことをいうか。
- (3) 奉公の内容を説明せよ。
- (4) 武士の一族の長である()が庶子を統率した。
- (5) 鎌倉時代、武士の領地の相続法は()相続で、庶子や女子にも土地が与えられた。

【解答】

- (1) 御家人 (2) 領地の支配を認めたり、守護や地頭に任命したりすること。 (3) 将軍のために、一族を率いて戦いに参加すること。 (4) 惣領 (5) 分割

[印刷 / 他の PDF ファイルについて]

このファイルは、FdText 社会(6,200 円)を PDF 形式に変換したサンプルで印刷はできないようになっています。製品版の FdText 社会は Word(または一太郎)の文書ファイルで、印刷・編集を自由に行うことができます。さらに、製品版には、この問題解答一体形式のほかに、問題解答分離形式を収録していますので、購入後、ただちに印刷して使うことができます。

FdText 社会の全 PDF ファイル、他の科目(数学・英語・理科・国語)の各 PDF ファイル、および製品版の購入方法は、<http://www.fdtype.com/txt/index.html> に掲載しております。

下図のような、[FdData 無料閲覧ソフト(RunFdData)]を、お使いになっている Windows にインストールすれば、FdData 中間期末・FdData 入試の全 PDF ファイルを閲覧することができます。この PDF ファイルは、印刷・編集はできませんが、試験前に、画面を見ながら目で問題を解いていただいても一定の学習効果が期待できます。

[FdData 無料閲覧ソフト]ダウンロードのページ：<http://www.fdtype.com/lnk/dwn2.html>

